

コンサルティングサービスのご提案

2025年5月

データ利活用による業務改善・改革を 支援するコンサルティングサービスのご紹介

調達・購買業務を例とした データ可視化やAI・機械学習の実務導入のご支援に向けて

DX(Digital Transformation)の実現において、データ利活用は重要な課題です。 これまで地道に業務改善に取り組まれている企業にこそ、その効果が期待できます。

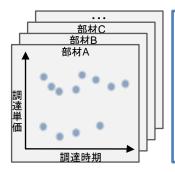
- 業務課題の所在に切り込み、その課題を可視化することで、初めて組織は動きます。
- AI・機械学習による予測や相関分析は、組織に新たな知見を生み出し、DXの推進に貢献します。

データ利活用によって実現できる業務改善・改革とは

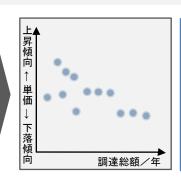
本資料では調達・購買業務を例としてご紹介しておりますが、他の業務においてもデータの可視化やAI・機械学習に関する業務適用の知見や実績があります(裏面)。

事例1. 部材ごとの調達動向の可視化、一物二価や長期価格膠着品の発見

- 部材1つ1つの可視化はしても、全ての部材の動向を把握した施策の検討は不十分なことがあります。
- 貴社内に大量に蓄積される調達明細データから、それらの動向を俯瞰することで、今までより高い効果が 期待できる、実行可能で実践的な業務改善・改革の切り口、コスト削減の機会を発見できます。



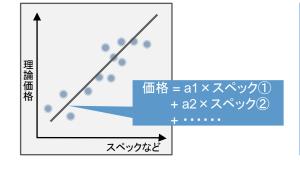
- 点は1回1回の調達明細
- 部材ごと調達の傾向を可視 化、改善点の発見など
- 例:同じ部材で一物二価の 発見、サプライヤや詳細仕 様などの要因に着目
- ⇒ 調達プロセスなどの違いに 応じた施策の検討へ



- 点は調達する個々の部材
- 部材全体の調達の実態を概 観的に可視化
- 例:調達総額が大きい部材より中規模の方が、交渉が 不十分で、価格が長期膠着
- ⇒ー律コスト削減より、的を 絞った施策が期待効果大

事例2. 統計・機械学習を用いた価格予測による交渉の糸口の発見、調達計画(量・時期)策定支援

- 市場価格のベンチマーク情報が入手困難な部材でも、妥当な調達価格を把握・予測したい。
- 主に貴社内に蓄積されるデータを活用し、統計・機械学習を用いて、価格との関係性が強い要因を抽出し、 理論価格を算出する仕組みを構築することで、コストダウンの対象部材や施策案の抽出につながります。



- 組立製造業であれば、価格に影響の強い/要求を緩和できるスペックを発見することで、サプライヤとの交渉ネタを抽出できます。
- ■プロセス製造業であれば、価格の決定要因となる市況モノの価格推移を活用することで、いつ、いくらで買うのがベストか予測でき、調達計画の策定に活用できます。
- ■他にも以下への活用が期待されます。

需要予測や在庫 最適化との連携 景気・市況予測、 予兆発見など データ利活用による業務改善・改革の支援において、当社は3つの特長を有します。

データ利活用による業務改善・改革のステップ

設計(要件整理)

当 社

の強み

実行可能性検証 (PoC:Proof of Concept)

システム開発

システム運用

①データサイエンティストによる上流からの支援

- データサイエンティスト が最初から関与することで、データ利活用として適切な企画を作成できます(詳細はこちら)
- 幅広いデータ利活用や その人材育成に関する 知見もあります(下記)

②「データワーク」を活用した最適な体制の組成

- 紙に書き込まれた情報、PDFに埋め込まれた値などが未だ多いのが実情です。
- これらを使えるようにする労力は、PoC の費用を圧迫するだけでなく、運用の 実現に向けたボトルネックともなります。
- <u>(一社)データワークサポート</u>と連携する当社は、そのような状況でもデータ利活用を実行する体制をご提案できます。

③ITベンダからの中立性

- 当社はIT部門を抱えず、特定のITソリューションも有しません。
- 中立の立場から、貴 社に最適なITベンダ の選定するなど、シ ステム開発・運用を ご支援いたします。

データ利活用に関する知見

- 社内外の業務改善・改革を支援してきた実績を 基に、どのような課題には、どのようなデータ利 活用が有用か整理・体系化(下図)
- マーケティングや人事、調達・購買、SCM、リスクマネジメントなどの分野を中心にデータ利活用の検討を支援する際のレファレンスがあります。

製造業務(製販在計画・管理) 調達·購買業務 人事戦略立家~宝行 -マーケティング戦略立案プロセスにおけるデータサイエンス導入 Research STP 戦略の実行状況の管理 と評価 改善 ■ 経営戦略を念頭にした ■ 市場分析とニーズ把握、ア 外部・内部環境分析 提供価値の具体化 KPI予実管理と施策・ 計画の修正 PEST, 5F, 3C SWOTAY SNS分析によるニーズ 動向把握 政府統計データ等る市況の長期予 ■ 営業日報の分析による 理状把機 収益シミュレーション等を活用した計画修正支 ■ ITシステム環境、データ蓄積・分析等の基盤整備 ■データ利活用に関する人材育成、組織開発、業務プロセス整備 など ■ データサイエンス 人材育成 データサイエンス 組造・実務プロセス 整備支援

データ利活用人材の育成に向けて

- 社外に出せない情報・データを扱う業務もあります(人事・品証など)。また、データ利活用を社内でも実行できるよう、人材育成を併せて要望されることもあります。
- データ利活用に関する知識や経験など、現状の人材やスキルレベルに応じて実施形態などは変わりますが、 専門知識があるコンサルタントが、アドバイザリコンサル形式でOJT研修的にサポートした実績もあります。



■ 貴社のテーマやデー タに基づいた分析な どの作業実施



作業方針など の持ち帰り



■ コンサルタントの定期訪問によるレビュー、助言

■ 訪問頻度などは、ご予算や全 体スケジュールに応じて調整





実施オプション

- 講義(スポット開催)や情報提供
 - 一部作業代行 など

ご相談から企画提案のご依頼までお気軽にお問い合わせください

お問い合わせはこちら

